

# Panasonic



「勉強部屋がないなら、  
うちの店にいらっしゃい」  
子供たちの心のケアを  
もっと考えていきたい。  
私は、街のでんき屋です。

部活帰りの子供たちが次々やって来ました。  
でんき屋をしている隣の部屋を、自習室として

開放しているんです。ボランティアの  
大学生の方に学習のサポートもお願いしましてね。

仮設住宅ですと家族全員で二部屋ですから、  
勉強する場にも困っているでしょうし、

子供たち、黙つて耐えるばかりで、  
ストレスもたまっています。

ノビノビさせてあげたいんです。  
私たち自身、店舗も自宅も失いましたが、

もう一度でんき屋を始める気になったのは、  
お客様の励ましがあったからこそ。

やっぱり、この苦難を超えるのは、モノより人。  
人がつながり、支え合うからこそ、

人がつながり、支え合うからこそ、  
前を向く気力が湧くんです。

そんな思いで、店を開ける際、  
いろんな思いを抱えた町の人たちが交流できる

コミュニケーションスペースを隣に設けました。  
子供の笑い声が聞こえるって、いいですね。

この子たちが将来、地域のリーダーとして  
力強く羽ばたくことを、  
町のみんなが願っているんです。

東北の  
街の元氣屋  
になる。  
パナソニックの店

